

不定期開催の体験型プログラムは、災害時の避難場所を想定した山の頂上での小屋づくり、お手製のかまどでご飯を炊きピザを焼く避難所体験、災害に備えるための知識を得る自助・共助体験(伝承プログラムなど、楽しみながら備災の意識を養える内容です。



小高い丘には、海を見つめるように南三陸大仏が鎮座する。これはミャンマーの、ある商社の代表から、犠牲者を鎮魂するために贈られた大仏で、2019年に完成した。一緒に祈りを捧げよう



東 「学んだこと」「後世に伝えるべきこと」「祈りたいこと」「残したい風景」を発信したいとの思いから、南三陸ホテル観洋が所有する森をホテルスタッフと町民有志、ボランティアが平成28年(2016)に整備を開始。被災者の笑顔と元気を取り戻せる場、慰霊・鎮魂の場、次世代に「備災」を伝える場として誕生しました。好天の日には志津川湾や荒島も一望。機械ではなく人力で造った森のため、デコボコの道には注意が必要です。その「手作り感」が登っていて楽しく、携わった人たちの思いが伝わってくるようです。



「人と自然との持続可能な共生と共創」を南三陸から世界へ発信している森。プログラムがない時は誰でも自由に登れる。東北の海岸沿いをめぐる「みちのく潮風トレイル」の立ち寄り場所としての活用も想定している



避難所での生活を想定し、自分たちで薪を割りピザを焼く体験型プログラム。インフラが絶たれた環境で生きるための技術を継承しながら、自然の恵みと脅威について考える場を提供している

**考えてみよう**

Q1 海の見える命の森は災害が起きたときに、避難場所としても利用することができます。森には小屋のほかにも、災害時に役立つものが設置されました。それは何でしょう?

●みなみざんりくちよう

# 南三陸町

## 海の見える命の森

●うみのみえるいのちのもり

みんなでつくった森で備災を学ぶ

南三陸町の被害状況

最大震度	6弱
浸水面積	10km <sup>2</sup>
最大浸水高	32.75m
全壊	3,143棟
半壊	178棟
一部損壊	1,204棟
死者	620人
行方不明者	211人
負傷者	不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠  
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

### その他

(森)

#### 施設DATA

●うみのみえるいのちのもり

### 海の見える命の森

☎ 0226-46-2442(南三陸ホテル観洋) MAP P114D2

📍 南三陸町志津川黒崎99-17(南三陸ホテル観洋)

🚗 三陸沿岸道路志津川ICから車で10分

🕒 9時～日没

👤 散策自由 ※プログラムは要予約

👤 散策自由 ※体験料は1人1100円+道具レンタル料300円(昼食ピザ焼き体験1人1100円など。プログラムにより異なる)

🚗 あり(大型バス:あり)

※南三陸ホテル観洋の駐車場を利用

<https://umimori2011.wixsite.com/mysite>

